



ふく きそう  
服の寄贈 フォトレポート

ねんど  
2021年度  
とど 届けよう、服のチカラ プロジェクト



「<sup>ねんど</sup>2021年度<sup>とど</sup>「届けよう、<sup>ふく</sup>服のチカラ」プロジェクト」  
にご参加いただき、ありがとうございました！

みなさんが回収した服は、国連難民高等弁務官事務所  
(UNHCR) と力を合わせて、服を必要としている  
難民・国内避難民の子どもたちにお送りしています。

みなさんが回収した服が、どのようにして  
子どもたちのもとへ届いているか、写真でお伝えします。



みなさんが<sup>がっこう</sup>学校から<sup>おく</sup>送ってくれた<sup>ふく</sup>服は、まず<sup>にほん</sup>日本にある<sup>そうこ</sup>倉庫に<sup>はこ</sup>運ばれます。  
<sup>う</sup>受け取る人の<sup>と</sup>気持ちを<sup>ひと</sup>考えて、<sup>きも</sup>まだ着られる<sup>かんが</sup>服、<sup>まだ</sup>もう着られない<sup>ふく</sup>服に分けられます。





ふく<sup>は</sup>い<sup>だ</sup>ん ボールをさら  
にビニールでしっかり  
うつつ<sup>げんち</sup>に届<sup>とど</sup>けられる  
まで、あめ<sup>とちゆう</sup>にぬれたり、途  
中<sup>よこ</sup>で汚れたりしないよう  
にしています。そしてふね<sup>おつよう</sup>  
に積<sup>う</sup>んで、ふく<sup>ほんとう</sup>を本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に必  
要<sup>ひとひと</sup>としている世界<sup>とど</sup>中の  
人々へ届<sup>とど</sup>けられます。

# 2016年5月 ルワンダへの寄贈



## ルワンダの基礎データ\*

1. 面積 めんせき 2.63万平方キロメートル まんへいほう
2. 人口 じんこう 1,263万人 まんにん
3. 首都 しゅと キガリ
4. 言語 げんご ルワンダ語、英語、フランス語、スワヒリ語
5. 宗教 しゅうきょう キリスト教、イスラム教

\*外務省



ねん がつげんざい ごうけい  
ルワンダは2021年10月現在、合計  
なんみん ひごきぼうしゃ っ  
126,180人の難民と庇護希望者を受  
け入れています。  
みんしゅきょうわこく (60.8%)、ブル  
ンジ (38.9%) の人々が主な対象者  
ひとひと おも たいしょうしゃ  
です。\*

\*OPERATIONAL UPDATE, RWANDA/ October 2021, UNHCR





ルワンダにあるギヘンベ<sup>なんみん</sup>難民キャンプとマハマ<sup>ほうもん</sup>難民キャンプを訪問しました。現地<sup>けんち</sup>に行くことは、難民<sup>なんみん</sup>の生活<sup>せいかつ</sup>に必要な服<sup>ひつようぶく</sup>のニーズ<sup>りがい</sup>を理解するために、大変重要<sup>たいへんじゅうよう</sup>です。



はだざむ  
こ  
き  
ふく  
肌寒  
く  
よる  
あめ  
ひ  
冷える夜や雨の日に、また強い白  
ひかり  
びょうき  
ばいがい  
か  
つよ  
ひ  
光や病気の媒介となる蚊から身を守  
ることが出来ます。みなさんが集め  
てくれた1着1着の服には、命を守る  
ちカラがあるのです。







服を受け取ったあと、我慢できずにその場で着てみせてくれる子どもたちもいました。  
喜びにあふれたような子どもたちの様子を見て、あらためて服のチカラを感じます。

# 2016年11月 ミャンマーへの寄贈



## ミャンマーの基礎データ\*

1. 面積 68万平方キロメートル (日本の約1.8倍)
2. 人口 5,141万人
3. 首都 ネピドー
4. 言語 ミャンマー語
5. 宗教 仏教、キリスト教、イスラム教など

\*外務省



ちゅうごく せ ほくぶ しゅう めん せいぶ しゅう  
中国、インドと接する北部カチン州、バングラデシュに面する西部ラカイン州の2  
か所しょうを訪問ほうもんしました。家族かぞくの代表者だいひょうしゃが、名前順なまえじゆんに呼ばれます。その度たび、全員ぜんいんで拍手はくしゅ  
をするあたような温かい雰囲気ふんいきの中で、一人ひとりに手渡てわたします。大人おとなも子どもも、  
ぴったりの1枚まいを渡わたせるように大きさを広げて確認かくにんしながら配布はいふします。





にち はや せいかつ もど ねが げんち  
1日でも早くもとの生活に戻りたいと願う現地の人たち。  
かお えがお いんしょうてき  
顔をほころばせて受け取ってくれる子どもたちの笑顔が印象的でした。





“届けよう、服のチカラ”  
プロジェクト



UNI  
QLO



# 2020年2月 マラウイへの寄贈



## マラウイの<sup>きそ</sup>基礎データ\*

1. <sup>めんせき</sup>面積 <sup>まんへいほう</sup>11.8万平方キロメートル (日本の約1/3)
2. <sup>じんこう</sup>人口 <sup>まんにん</sup>1,862万人
3. <sup>しゅと</sup>首都 リロングウェ
4. <sup>げんご</sup>言語 チェワ語、英語、各民族語
5. <sup>しゅうきょう</sup>宗教 人口の約75%がキリスト教

\*外務省





2021年8月現在、マラウイには51,415人の難民と庇護希望者が登録されています。多くはザレカという場所のキャンプに住み、UNHCRとパートナーの保護・支援を受けています。\*



この時、マラウイに送られたのは1,340ボール、およそ25万着の衣類。すべてのボールが搬入されたとき、この倉庫の半分が埋まるほどの量だったそうです。毎日気温や気候を計測し、保管している物資がダメージを受けないように管理されていました。



うけつけ おひと ふう はいふ なんみん  
受付を終えた人たちから、服を配布していきます。服の配布は、難民  
キャンプで生活するボランティアワーカーの人たちと一緒にいきます。  
かれ じしん なんみん  
彼ら自身も難民です。





はじめは緊張した表情でも、服を渡すとうれしそうにポーズをとってくれたり。  
遠いマラウイの地でも、みなさんが集めてくれたたくさんの服が、人々の生活の一部  
となっていることをあらためて実感します。

いのち まも こせい ひょうげん  
命を守る。個性を表現する。

みなさんがあつめてくれた、たくさんの「服のチカラ」。  
くに こ げんち こ い  
国を越えて、現地の子どもたちの生きるチカラになっています。  
このレポートをみて、そのことをかんじてもらえたらうれしいです。

こま ひと じぶん あか みらい  
困っている人たちのため、自分たちの明るい未来のため。  
このかつどうをヒントに、自分にできることをつづけていきましょう！

ほんとう  
本当にありがとうございました！

とど ふく じむきよく  
“届けよう、服のチカラ”プロジェクト 事務局